

2010年7月13日
東日本旅客鉄道株式会社
公益財団法人 東日本鉄道文化財団

鉄道博物館開館三周年特別企画展 「御料車～知られざる美術品～」の開催について

「鉄道博物館」は、JR東日本創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして建設し、2007年10月14日の開館以降、多くのお客さまにご来館いただいております。

鉄道博物館は2010年10月で開館三周年を迎えることになりました。これを記念して、10月9日(土)から特別企画展「御料車～知られざる美術品～」を開催いたします。

御料車は、天皇・皇后両陛下や皇太子殿下が御乗用される車両の総称で、「走る美術品」とも「走る宮殿」とも称されています。

御料車は、明治、大正、昭和それぞれの時代における最も信頼性の高い車両製造技術と最高レベルの工芸美術の粋を結集して製造されており、当時の美術工芸品を知る上で極めて貴重な資料となっています。

今回の展示では、その中から貴重な装飾美術品など約90点を展示するとともに御料車の歴史や変遷なども紹介いたします。

- | | |
|--------|---|
| 会 期 | 2010年10月9日(土)～2011年1月16日(日) |
| 会 場 | 鉄道博物館2F スペシャルギャラリー |
| 入 場 料 | 無料(入館料のみ) |
| 主 催 | 鉄道博物館(公益財団法人東日本鉄道文化財団) |
| 特別協賛 | 毎日新聞社 |
| 協 賛 | ビックカメラ
岩岡印刷工業 鹿島建設 川崎重工 JT ジェイティービー
資生堂 タイトー 鉄建建設 東急車輛製造 凸版印刷
日立製作所 三越 |
| 特別協力 | JR東日本 |
| 展示協力 | 川島織物セルコン |
| 協 力 | 宮内庁 |
| 主な展示内容 | 別 紙 |

主な展示内容

第1章 御料車の歴史

御料車の歴史、御料車の変遷や運行記録をテーマとして、鉄道開業式を描いた錦絵や御料車を牽引する機関車の装飾品などを展示します。

[展示資料]

錦絵・御召列車用機関車装飾品
仕業札(「御召」「御乗用」)など



とうきょうしおどめてつどうごかいぎょうさいれいず
《東京汐留鉄道御開業祭礼図》
三代歌川廣重 明治5年

第2章 御料車の御座所

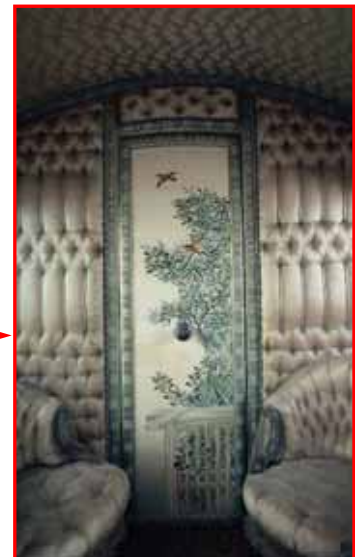
御座所の内装は、明治、大正、昭和、それぞれの時代で特徴があり、1/6の模型や原寸大での再現、写真パネルなどを用いて、複数の御座所を比較展示します。

[展示資料]

初代1号御料車の御座所の妻(扉含む)部分再現
7号御料車の御座所(一部分)の原寸再現
初代2号御料車、現1号御料車の御座所模型など



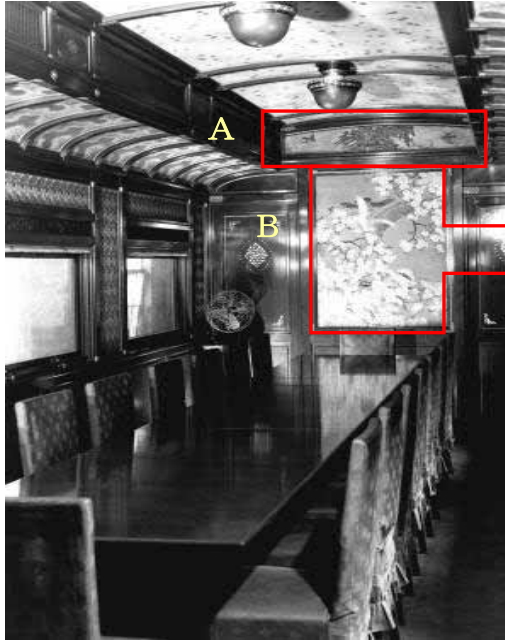
初代1号御料車外観



初代1号御料車の御座所の妻部分再現

第3章 知られざる美術品

御料車内は漆工、七宝、木工、彫金、^{ちゆうきん} 鑄金、^{ちゆうきん} 鋳金、^{らでん} 螺鈿細工が散りばめられています。解体や修繕で取り外された内装飾の一部(扉や妻飾り、吹寄せ、妻仕切壁面、天井灯など)が保存されており、それらのものを展示します。また、当館や JR 東日本が保存している御料車内にある、椅子や^{だいたくし} 大卓子(玉座とセットになっている机)、絵画等の展示を行います。また、御料車の室内は織物や刺繍がふんだんに使用されており、その原図などの展示も行います。



11号御料車御食堂室内

※ 11号御料車は、1965(昭和 40)年に解体されています。

A

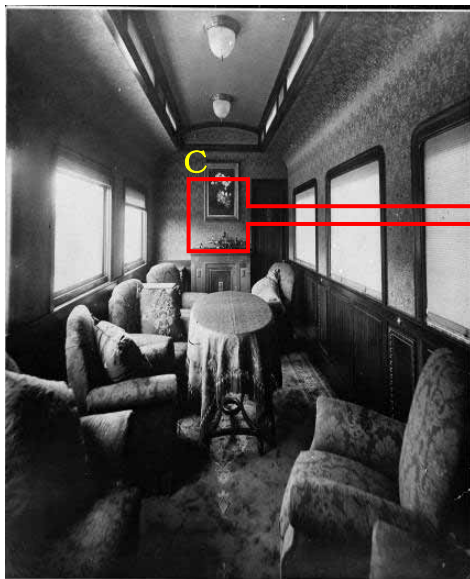


御食堂室櫛形妻飾り 木彫「牡丹に雀」 作:高村光雲
H27.5×W150 (cm)

B



御食堂室壁面の刺繍画「桜と鳩」 H219×W119 (cm)
(刺繍部分H122×W93 (cm))



12号御料車御座所

C



油絵『野菊と薔薇』 作:岡田三郎助
H78×W66.5 (cm) 12号

[展示資料]

- 11号御料車 御食堂室櫛形木彫「牡丹に雀」 作:高村光雲 (写真A参照)
- 11号御料車 御食堂室壁面の刺繍画「桜と鳩」 作者不明 (写真B参照)
- 12号御料車御座所 油絵「野菊と薔薇」 作:岡田三郎助 など (写真C参照)

第4章 エピローグ

関連展示として、御料車以外でも行幸啓(天皇、皇后両陛下がご一緒に外出されること。)で使用された貴賓車両また貴賓室などを資料や写真を用いて紹介をする。
初代2号御料車の外観を再現し、写真撮影のコーナーを設けます。

[展示資料]

- ・東京駅、日光駅貴賓室の写真展示
- ・初代2号御料車の外観を一部再現し、記念写真撮影ができるコーナーの設置など



大正3年開業当時東京駅全景



開業当時東京駅貴賓室(梅の間)



初代2号御料車の外観を一部再現